



教師を目指す学生による「学生文化」「学校文化」の創造と
新たな「学生と学校のWin-Winの関係」の構築

東浦町SP通信

～東浦町では、学生ボランティアを“職員の仲間”という思いを込めて、
「SP」または「スクールパートナー」と呼んでいます。～

第1号

2025年4月18日

編集 緒方 なな
東浦町教育委員会
SPコーディネーター

2025年度 始まる！よろしくお願ひします

2025年度が始まりました。昨年度に引き続き、今年度もSPコーディネーターを務めます緒方ななです。昨年度活動してくれたSPさん、改めて、ありがとうございました。学生のみなさんがいなければ成り立たない事業、それがこのSP活動です。SP活動も今年で13年目となりました。シニアSP（卒業生）としても、この素敵な文化を脈々と続けてくれることに感謝しています。また、来てくれるSPさん全員が、意識高く活動に取り組み、誠意を持って子どもたちに一生懸命向き合ってくれるからこそ、学校・保護者そして子どもたちからも信頼の厚い活動になっています。Win×4（SP活動に関わる①学生②子ども③学校（教師）④保護者（地域）その4者にとって“Win”）な活動になるよう、今年もコーディネーターとして精一杯みなさんのサポートができればと思います。何か困ったこと、相談、活動に関する希望などがあれば、気軽にお声がけください。LINE公式アカウントでの連絡でも構いません。今年度もどうぞ、よろしくお願ひします。

昨年度末、SPさんが活動後に毎回書いてくれる「活動記録」を拝見しました。素敵な内容だったので、共有します。



今日でSP活動が最後でした。SP活動では最後までさまざまなことを経験し、学ぶことができました。SP活動での経験を生かし、4月からの赴任校でも精一杯頑張ります。ありがとうございました。



6年生のいない学校はどこかさみしいです。あおぞら（特別支援学級）に行っても、黄色い帽子をかぶったKくんはどこを探しても見つからなくて、少し悲しい気持ちになりました。中学校でもSP活動をしているので、そこで成長したKくんの姿を見れたらいいな……。

各学校の先生方から、「本当に良い方ばかり」「来てくれると助かる」「現場で即戦力になると思う」「活動最終日、丁寧に挨拶をしてくれました」とよくお声がけいただいた年度末でした。SPさん、先生方、その双方がお互いに感謝の気持ちを持ってSP活動を受け入れてくださっていることが嬉しいです。また、「6年生がいないと寂しい。成長した姿を見たい」と言えるSPさん、素敵だと思いました。ただの“ボランティア”ではなく、まさしく“スクールパートナー＝教職員の仲間”でいてくれているのだと感じます。ここまで子どもたちに向き合うことのできるSPさんがいます。ここまで子どもたちにたっぷり関わってくださる学校・先生方がいます。大変ありがたいことです。この活動がこれからも続き、東浦町の教育文化としてこれからも繋げていけるよう、私も日々アップデートしていきたいです。